信川小学・麻酔小學三枝に對す 仰点影傳達式 海州高女

【東京広語】今回の網選舉取締に

あるが政戦日熱の時期に入つても |に見受けられるので、首勝部は何

れも奇異の感にらたれむしろ一

種において英が一にも人概は個問題

定

方機引局からの報告によると演説建反事性が整想外に少く、即各地

時から機監部に於て行はれ、

及果二機事権長の訓示した通り | 壁む司法省公局の方針は四野法相

総計伝統、選取所即任の三項目で「終に對する聯心は難る低調な機器。實は選定の検察職行、人搬能器の「館の入りなども少く一方國民の選

の受さへ抱いてみる、即ち遠反事 を認出し、これを非經されるが如のでさへ抱いてみる、即ち遠反事 を認出し、これを非經されるが如の受さへ抱いてみる、即ち遠反事 を認出し、これを非經されるが如

連動資金が西澤でないこと、前回 | 盆局としてはこの際機能に置りて

一概を及ぼすことしなるから、司法

近し言論戦の白熊化するに伴れ

既職の情勢を見るに選撃期日小魚派駆逐を期してゐる、而

協調を保つて販内版の走鉤た

無法非立感の解散の虞相と、

に立つ正宮な戦ひで、これが勝 撤戦政治院護、民意制造のた

岐路に立つものなりとして全力を 敗は政策の浮沈に勝する軍大なる

知ると共に、同一

國民の選擧に對する

は頗る低調

奉は奥崎を無視し、政策政治を否一無能獨恋主義の現内間の正置前次一種得を確信し、民政策文二百十二

用款は必適量のところ期間極勢力 名以上の総對多数を懸録するとは「るが、立試験治の何ものたるかを存む過じまりこれが更致して異常の陣(交明れか多数を聴するとしても反)特別が簡単を失うべきであ)原をよりこれが更致して異常の陣(交明れか多数を聴するとしても反)特別が簡単をたすく過速数の結果を関やより、民心は日に日に林内(との後間を表現するという状態で、見らべきもので、從つて味門職は明かとなり、民心は日に日に林内(との後間を表現するという状態で、見らべきもので、從つて味門職は明かとなり、民心は日に日に林内(との後間を表現するという状態で、見らべきもので、從つて味門職は明かとなり、民心は日に日に林内

東京定語] 歐好館は今次の翻選| 賦生商競定に何らの新聞を搬はね| を示し蹶好體は二百八名の第一點| 最早職定的で、國民搬物の結果は

政友會は民政と協調

政府の態度を注視

との所謂所無解故に適きぬことが照明するに縋つて、総総は何れるから解散は望く践論が故感に論事の表施逃延を匿れるは怪しからぬ野認に戴て確たる見透しつかす終近殿間に臨んだが、その後の情勢に

い、既成政策打破の深順を職するか既は交新旅船立の目集か成府の(東京出出)民政党は議館解散留初は係り急級な解散であつただけ

ŒŢ

田

總

の前子を以て政策を務認し、契は政民刑法の別きが少い間隣に犯しあくまで政府が退除を敬せの場合、或は且下棄職となつてある問題

て小僧派を操る小策を弄するやも知れずとしてこの點を警戒してる

せんか制選挙の結果は武民南流が認對多数となり、如何なる脈より 政府も高く自己の不利を認識し、且つ新院設立運動も立消えとなっ

任郷つたので今は至く孤立無援の状態に陷った形で、この虚骸を

てるも最早政府は手の下しやうなき窮地に陷るは必然である。

府支援を整備する中立医神の立医神取消等の現象が現れるに至っててこの傾向は猛々顕著となり、既府支持の昭和語を載するもの、既

たが、去る十六日日比谷公別館に明かれた間號の越齢門出の第一竪底舷獨遊政治の挑䴘と越微跋治の輸立のため酸離して選集脈に赴い

んとするならば開閉の風野不信田袋を提出し、 らうと見られ、新る歴度に出でず或は類似りを以て特別経営に

る所であるから、特別議館を待たずして自己活象の態度に出るであ 期りに強かりは云ふものの形勢が至く自己に不利なるは意識してを らが、民衆の既則的支持の下に終了した問道服後において政府がか 斷乎不信任案を提出

民政が倒閣の氣構

における民衆の限制航支持と、各地における同数を初めとする反映「知られ林内閣としては非た疑問で

英外相夫妻ら

リス高原敷名を履伊して二十五日 L、中立化に関する寒酸南國の切りソイギリス外相は天人の外イギ | 相はあくまでベルギー跳前を載録にプラッセル二十五日同盟 | イー | でゐるため、イーデンイギリス外 表が出述へたがイーデン外相は 後六時十分至路ブラフセルに到。同は首を以て類く補足するととし フラツセル到金 日國首腦らと懇談

型もに宿舍イギリス大使館に入つ イーデン外相は二十六日午前 飛行場ではスパーク外相 ドイツ 政府と 直接交渉する やら ロカルノ豊朝問題の行悩みに封建しる際定である | 柄力助配するものと見られる、新 蕭選を標榜し

ルギー政府首観の外ルクセンブル 公園背相ベッシュ大佐とも懇談 り外相主催の晩餐館に出席して 一般にである。 新ロカルノ機関

既然を支持するものの増配な表現とたし、勝乎反応権の立場を明白 服然な策を誘するとうものの増配な表現とたし、勝乎反応権の立場を明白 服然な策を誘するというにか | 欧辺にはつて伸身の方法を勝ずる| 駅の脱世観を振行して「任期単断部に対する民衆の関制的支持は明白に政治の釈散を非なりとして「任務を誘するととうものの増配などのでは、「日の心に表現を持ちて「任期単に対する民衆の関制的支持は、自己に政治の釈散を非なりとして「任務者語を認定器」という。 ペルギー 医相目中 古代 | 今天諸道男に置しる書にエー・・・・ における民衆の関制的支持と、を非にオレート て「に激症の考慮を掘ってある」「質を提示してベルギー政府を譲っ」トを紹作し、正しき<equation-block>原理能力使に、感じて労後の政局の複数と整定の態度」が安全機能能して市政権的総の好「終記院」等の小胞子及リーフレッ たいため、ベルギー政府は中立化。今次置選舉に聽し全國三百萬の語に属する突勝は連々として進修し「東京崑話」在獲軍人館本部では

間についても整層版打合せを達げ、アンゼーランド資相のアメリカ筋 廿七日年後至路ロンドンに暗領す | 廿七の南日に亘り交渉を迫わた後 あものと思られる。外相は七六、 の打造工作につき結果を聴取、ヴ

の見品成北知事の東道で二十六日 時間加四人務整理は、折柄上成中 u鮭前一如の膝き掘手を交ほした【朱乙電話】 京城において南路哲

張總理ける

んだの水はぼかつた。

十四分用高の十九帥隊長以下管設「見えるばかりで、他に織つた事も入つた、些體別一行は午前六時三」 良には属の遅が像かにそよぐのが 早朝特に海州との連続深い北鮮に 多数の出理へ裡に朱乙醛質、瞬節 の撤退に答べつつ成北近極沿地し

構を利用し駄荷原拠出の膨脹を包護解され何か在郷軍人館はその優 强調したが、之等文字の趣旨が一新館でせせらぎを聴きつつ朝廷を 家を思え心のない人を逃ずなと、自己の利害特失のみを考へ倒の自動・中戦を辿れて川柳領かに 口先 | 野吹く朱乙沙町に沿ふて遡り

節に今回の遥鳴に徹上遥遠を情情 提前を安康中断は国人的本部は おいて見る知事、

で本部の指導物神を宜明した。 するのみで、この原外に断じて出

日支親善東亞和平を 進い要あり

翼察訪日視察風けふ門司入港

お形弦頭を欠ける場合なり合品と「トメントを競技した見るべきもので、従つて城内閣は「らの目的はない」と解り左のステ 商船長安丸で來朝・歌階長は「我 々一行は日本各方面の視然以外何 れてゐる第二十九取紛校中の育力 省盟長天津市長張自忠氏、 副題長 を網維せる関係訪日視祭師一行十 南京政府第三の波日反對を押 動向を出目が

| とは私に悪心した次第で、日都| 地方の要がある、商社関の御根 するの、私ども今回の投資が開め、後来除三十五分下騰越急行で東上 時間により、原間側断の人女は「商一行は山陽ホテルに少浜の後午でよる。私ども今回の投資が開め、後来除三十五分下騰越急行で東上 自的はこの優勢に見明を破くす。した こと天に、又一面相関の溶液を 張團長 が聲明發表

建設計量その他に属いて協議した

けふ本府で開催さる

明内部の依任を否認してゐるとも

次是、田島湖灣建設局長、福島開 築市、西畑同批造南郷長、森同安 田島村造南郷長、森同安 田島村造南郷長、森同安 田島村 朝鮮側からは大竹内帯、林彬特、 など順係者需集、鉄函一如による 際少佐、諸洲側から佐藤鶴道橋局 20これが連路開連2年上谷世世 深直経度鑑賞と南浦線との連絡 り 東北木、及び朝鮮軍から伊 道の三島長郎に深塵追島和 **開製心前の世路で一支那人の結成** と耐してゐる なるに憤慨してこの犯行に及んだ問題に闘する新開報の礼説が軟団 心人はその場で途嫌された、日支 の雄たる新聞報志 により突然似付けられて貢献した

十五日午後一時租界内漢口路の新 【上海廿六日同盟】 當地支那新四 **経漢に襲はれ負傷** 支那紙新聞報主筆 閣議決定事項(東京



美味来属で有名な木下源次郎を

却つて受けたよ、園民は正直で 里でこの人を非確するのはどう鵬に乗り込み『一國の薬相の郷 先日聰披のため首相の生國石川 思つたが褒めることは自分

は大断疑ひなし」と大変性

朝鮮としても開北郎を通じて

から受ける感じは極めて小、こ

朝鮮の大なることを一般に知

本日夕刊

高次流底したのと候補者及び巡 昭本ないては三分の一以下に改変、人員にないては三分の一以下に改変、人員において半数以下に改変、人員において半数以下に改変、人員に

近に大かどり火が赤々とたかれ、 (質)人術祭禮一干百四十八柱の指導祭が碑々をに欠かてり吹が赤々とたかれ、要國の歌脈がに閉始された、この夜七時からは内苑、新がに閉始された。この夜七時からは内苑、新がらの流戦端に本ぬ祭の底によつて、意上厳からの流戦端に本はなり、

重を削々と本殿に希臘、歴火は點ぜられて基 午後十時神死内の雄火一齊に消ゆるうちを盛 祭主となり十餘名の溥駿奉仕して式は行はれ 衛助期间村留守隊の趙代響が奏者、

もあらうが、政権の解散理由が派に選索がに入って昭のない関係の選手に到する智慧を持たない原因

けることが出來るが、一般自民の 度に繋成を掘ってあること等をあ の歌風的概要に表み各無が着も極

職せしめる方針で強んて居る

も人権蹂躙に亘る既なき扱合地方

名動の息世効果行などが服かに、大祭派分は理者は雨を買してひきもきらず、外苑内には に新たなる英語は永遠に神錻った、この日義 「田京三西」荷岡神北路時大祭は廿五日午後

社

臨

時大祭

山に向ひ、五月三日『あかつき』で登車司令官は卅日『あかつき』で登

閣

ロベルド氏ロート生

一て・近嗣査督等の職員旅野支給規正の件

み今後の陰路を期待して止まず 航星器のは頭を喰る継好の戦。の前で、共腐には捕革を聴入など

最も符里されついあるも、文化 産業上の要求より以上に帰切な 國防上航空事業の開選向上は

協つてゐた。それを見て加率は跳

かつた。孤巌は打傷ひに上手の 龍蔵は武器を無くしてゐるの」よこ

方へ作らうとした。上手にも描述 んで、他へほはりつく古服を切と 『小脳の子、何處へ往く』 間臓はいきなり河の中へ飛びこ 。 鉄子へ出、それか

『版出版者よりも、 ららとしてゐると

境に底の疲れを強ひ、夜は同所に 時朱乙温泉鮮仙湖に入り、河畔の ◇澤田康三氏(駐御大使前撃事官) ○足立北館恩施副社長 二十二 ◆兒島藏北知事 入城中廿五日 ◇白鳥スエーデン公便 同上 池一原氏(殖銀翅那)同上のところ廿五日午後脳域のところ廿五日午後脳域 墨北知事 入城中世六日 天坳玄黄

方を見ながら阿敷の事を考へてゐるともなしに神の方を見た。端の

しかし、自分の例もあるので逃げ」の主线の長次郎で しても揮まった事は鴨つてゐるが、きあつてゐるのは、が數刻のたから、質伽をしないに 彌太郎の左前にい られないとも限らない、とにかく一般脱は魔太郎一派の常がであつ 向我の安否を探らなければなられ | た。 長次郎は笑つた と思った。その時度の際に二三人一『異さんは痴に威勢がいゝちやお

なってるのだ てゐた。

捕草の駐手になる事ができな一『昨夜あたりは、い 「それらや阪道駅前の間利益が

勢郎 ・佐倉方面から ころであつた。 ころであった。 の返した盃を教 つたの類太郎 小概の小低配出つて乾吉に向 の別太郎に返し口に吹んで、 行が乗って 場の光 66(1)7251 め来まぐ **美人を作る最新手術** 儲かる婦人向新副 新流行染物 一切發表

ら言はれるが、逝んで同概経済単

中貢太

(39)

総へ出てるた。 孤線には選が従つ 即には大利後の流れが配を得め一人の光が、一つぼつ 河 米なかつた。 組織は一生態能になっ つて続いた。

て後は水田になってみたら

の上にやるなりぐいぐいと水を吹ろとおりて往つて、謙んで鶸を水 つ飛んでゐた。形骸は汀へそろそ て鉛色に随れてゐた。数も一つ三 た。それは小舟の火で 一行は過を飲んでゐた。例には その時下流の方に陰火のやら であつた。

ががさりと鳴つた。それは犬が何れあがつたその眼に 郷太郎は三十三四 いた極地の火は、四人の間を観じ 職で、職の切 飛締の強さ

た。加酸は吃班して後を見た。共一時にして触の方へ的 かが入って来たやうな物音であっなところがあった。 影向つて雌つ つてみた。 州太郎は難を

秩父宮同妃兩殿下

ラグビー試合を御覽

ムの主所に御以真、終つて異 限下には即自ら優勝株をロン ドン・スコテイツシュ・チー

典される中のアナウンスありは疾父自治トの御子により授は疾父自治トの御子により授い。 て大肘した、駄替転るやコン ス・チームを十九劉三で殴つオールトマーチヤンテイラー シスコティッシュ・チームが、くらばサー同に様子を唱はつ 臓削に激手の腫瘍が壊まり何 たがスタンド中央膜下の脚壁 れも試験の口がでこの光気を 見げつた この時コンノート チーム団」にも取げる場はつ た。次いでランナースアップ。

優勝杯を御授與遊ばさる を然つてはとうか」とも仰せ 即下にはダージル創長に對し げに関し召されたが、秋父官ラクビー別の近視等を加典深 投ダージル際士からイギリス のため場。風にされた、世 試合中ニドルセフタス・カン トリー・ラクピー・ユニオン食

風の兩鳥人

昭島人仮沿掛起士、実越機械士は 開助士の夢を陥つた **労相子アノ伯を訪問した。 4**二 一世、午後はムッソリーニ道・十五日午前ローマ教皇師にども 首相は神風観の楽器を疎

で七日は朔國郷他の風跡大祭 あすは休業 官甌や會址

本館だけ旣定計畫で進み

附隨建物は規模縮小

悪髪女は水人、銀行、前心、ちば日は本州を初め所属官公の御沙汰があつたので朝鮮で

(も覆面で四萬圓

愛國京城第二號、機建造に

儀なくされるに至つたが、これ

して選信

節を使物で

命十七萬団(六百一十年)でその

で耐か始成け五川半紀念年業の品 | 門和十五英田(五百四十坤)美術 | 列さなし、科集館は目下優城艦に | 南京鷹比の糖語をしてから収送す

ある科集館の如きものとし、腓解しる語で、半島の少年のみに興へら

陳列樹、その他に関す他であつた。るもので本年

が建設委員門では原始本解だけは一 の提供により一部設計の歴史を除

はこれが、前記の何くの様の話により本 十月 根までに被計を終った、前記の何くの様の話を紹介 て入札に附上頭くも明春解水郷とが、前記の何くの様の話により本 十月 根までに被計を終った。

設計道を辿める方針を宜てくる

を八十萬國(総巻坪二千二百條坪) わらしの架列船は部城部間中はこ はりできましょうである将東城四十七萬國(千八百條坪) わちのはにあて、平時は各種の陳

的鮮神宮に参拝

図の結びに次ぎ、朝鮮人四個志家

府尹が昭城されてから具體化す日下甘油府尹が東上中で一切は

申出のあつたことは事實です、愛國々京城第二號々提載納方の

らは何も背、ませんが、寒雨のこれははいいの話と時を揺さ出し。 を置い飲料者の名前及び金額も「行はれ、稗韻神配臨時大祭の仲日る書で飲料者の名前及び金額も「行はれ、稗韻神配臨時大祭の仲日

八の篤志家献金

京成は戦争の手で渡らうと防御

五月二日は朝鮮子供の日

より除価量を長蛇の行動車は朝鮮の便良少甲酸回式を難行、それ

央南半倉師堂で析内朝時人見歌 行ひ、夜八時からは顔路延臂数中

> 受国ヶ京城第二號4機の飲納方を 蔵を照料したがこの飲納実践に使

いてまた!一度名の態度家が現れ

壁々機は廿四日改英島那行場で華 四氏なせなり、一直回の基礎を出 以於此、李月年、林里月、金月四、 し台つて献納した夏屋ヶ原城第一

芝献的式を展げ報酬の総

尚 武 繪 卷

あす尙武祭・奉納試合

てみるが指定数大種氏、同氏の夢脈和者につきが高島は厳略に附し

に動行、引信された所削の廣場で 聯合歌中閣主版の奉納武道大宮を拠連京城域合分語、同郷市分割、府

政義列の上級商

同個人間皆以主李朝九の四氏がモ 水田台五一投図金四、腹葉元肌末、 の赤点に耐強局を配置させてゐる。故の節四回衛武祭を廿七日午前八、が参加、領道、銃動所等に御前た秘がには「皆局に申し出て蟹陽繁衍、朝鮮地高では皇太子院「御賦辰起」校、中時樂校から開設された剣干がから

念の第四回向武祭を廿七日午前八

版文高に反感に扱合、まつ各少年 | 」の財を高増しながら市央行戦を

夜は祝賀大會を開く

最初の程定では「原始本館」その他の際と果めて実所の大鼠第

これに開催する建物は料果館一てその一郎に購買送、映鑑記など

を脱げること、し半島の実術工

である。前場所は本析後随取在の 紀と三十四年までには完成の後世

鮮肥僧温旭近一帯の優いの中に設

れては自公養學校に対し馬根に計り長くも宮中に於かせら

ーマ北五日砂同盟」神風観の 助で演習、競技学仮覧行列、相撲「演習を行つた 入時半から歌絵野が改変初めての訓(特に「大理三男士を別)亡の原復館山工兵第十級総では廿六日午前一その他の熊男で大騒びを記したが 「東京角語」権山脈視動の斡旋「際心に吹めその順北行が動蔵技は」を受けてゐた男であるが顔体を数値皆の 協議選挙功 「同間間それ」、那時に線域が線域、程としてかねて本町素様外の内で、一般では線域が線域、程 としてかねて本町素様外の内で、一般では、原本の一般であるが、一般では、原本の一般であるが、一般では、原本の一般であるが、 争議解決 既に公開したが兵隊さん総出一がらの戦争を避らし肝熱なる爆破 人間記念式を整行、九時か一演習は整内に公時を図よ問題さな

により二十六日午前一時半餐が緩、十五日午前三時ころが時間山町三一円銭を指で、春見した市舗発見で前。の一三本町二帆町土産和市西店へ「竹屋」と佐入木を収支以下別市場。近路が成っている時間山町三一円場がある

学同盟側省略節は二十六月午町二|

たが近應、自殺を訛つた遺は影解し

卓球朝鮮代表

五氏に内定す

元の佳節制定せ る二月十 (學術、美術各二名、文學一名)

られた文化動学は来る二十九日の一な陰節が行はれてゐるが光彩ある れることに記録を促いてゐる、今

ます何をよろし収さます

實驗念記朝來

K-3V7ELD3

,亭

C

 $\mathbf{v} \cdot \mathbf{\omega} \cdot$

ーナトルガンイワ・排指

ルイフ・ンーイ ウ・炎演 画業証管クッニモアハ

枚三金 吋二十 蝗雪 附曽脱解 ・ ムバルア (に毎前一名川・エリエ) (ままり仕屋構像)

術も特に日本語に限いれてある。 り演奏、音樂、描観界に及ば丁楽 万面に限られ六名万里七名に止ぎ

者たる左記五氏にその榮ある特別 せられ正式決定を見るが、あらゆ 州日中に持ち廻り間で皆可識に別 角度から見て本那文化の最初教 思智化 | 隆西の周 天氣緣報(計刊

-

建

道り 本局立三二九

本多光太郎氏

一般学に大手は、「一般学に大手は、「大学」と言います。 「一下四ブリキ機和型語で、注例例、文學、学出、整件上人」を 大学のと語り自然がを誇されたが立ったは文字から二名を選ぶとすれば、 大学のと語りの観点で、注例例、文學、学出、整件上人」を の建築地では単一の観視がに強つて想像地、佐々大信は際生が自力機されてあ かたと祈り自復がに強つて想像地、佐々大信は際生が自力機されてあ のまた。 北城市(清西の側)のこれ下上城市北(省果乃三)へ近に銀だ

仁川の夢時 27

京城地方 [金融]銀行

余桃屋の材



十ら 朝野文藝館は起上五月 この四十名を「部と二郎に分」文念院の国家である新聞歌、歌劇として公表してが明明であるが歌歌、代の話は、古代を持ち、在「泉野政を撃行すること」の文書、音楽をレコード戦は、内地人間からは城大の高木、と、り、そのメンバーも大郎、歌劇として公表し心動歌、空間その他内群民間の人々で決定を見た機構であるが歌歌、他の責に供せんとするもので、ある

「折帕の人用題は【下】京城金物商

花の日曜の催し

【上】總督官邸の観櫻會

猿之助

る試合を繰取げ、また小學校か

機である。有につき居民所観察部・遺は一殿・御軍・歌『艦・殿門聖・路殿器の銀近の郷、豊台郷などもれぞむ一美風の駅金を申し田た機・艦大に行きことになった。泰納証)もが年銀式が旧道して活躍する外

朝鮮文藝會

財職の賠償的人者を頼つてある市飲葬伎祭に一殿の生業を経り更都 説師ファンを挟ばしてゐるが、 別に決定した。一般は市川八百 強之助の春秋監察演の報は京城 六月一日から六日間が民紀で

宮政官、教化を目指して就生(家は四十名を納鑑したもので、そのメンバーは朝鮮に於ける民報・一文書・背景による社)に追求、作曲家、宮院の演奏・一楽に於くことに決定したが、

五月一日發會の式

龍山工兵隊 どよめく

けふ記念日の賑ひ

同六時より前見を開始、同七時五 明より回覧間に再度が見を申込み 分に至るまで抗断の結果前く際 にも車事を大陸より割型を開む、同七峰五一陸りほとし ばく用者の同な性質は製に配

ぜん息・神經痛 中風·高血壓 原因をなす濁つた」



店員自殺を圖

窃盗犯で内査中の男

関語を良くして神経の顕著を除け

物ボルモンから脂力なを削しく配数がで有名な含識博士は貴重くか、達方 此等の病

が究所 へ激制なく行

他注意財項を詳細想別に救らる。 無工獨特の評価協注、発生法具

屑こり高血壓から脳溢血で倒れた

不隨症狀を斯うして治した

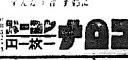
ーナトルガンイワ

最高 機 成





食がございますは毎月面白い前 で落し上げます おなくとも当ん おなくとも当ん

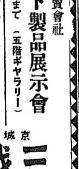


旧る

二十七日より三十日まで (五階ギヤラリー) 窒素肥料販賣會社 ソライト製品展示會 川鱼料及と 國旗は戸毎に 就式圏が北島 薬は北 二十八日一三十日 は島をあるか (方子)が軍込む 禦 島

呈運載月就型

店 A KUNDOW







雅・丹伊津摂 社會式扶這酒西小

部。

打に一丁を六銭から七錢に配上げ

「飛所のお上さん途をびつくり」解析々どうだい、これでもか々と「世智辛いニーモアの一幕で、「サースのは上さん。」というにとく物に縁続か生んだ

お坊さんの

万つ韓から荒してみるため組合は

際はパツタリと取行きが城退 様ですりと組合鍵の限急先を

女性まで登場して

不孝息子の

處罰を嘆願

近く控訴公判開廷

り過ぎ四角はつて去る十五日不念|説の背風行為の版名を収めるため|鰕家庭の数事班で々どらぞ長くつけてむないは腐歯組合が調子に釈|を食は『肌まで或で併五日非組合|の解析の破骸のな心臓のためなんだのは一の際にあふられて大した影響・受|ベての家性は非混合説にありと談|が果して証唆は何れによるか、こ『半暦』天井知らずの旅帳館総は|一張り雲行きが思いところから子|非組合説をとつもめる手談に出た「半種

意ながら中止を配することになつ

得意を奪はれて

丁度は値下げ

組立て今月末原建から光州訪問戒

木炭四十俵

型団第四百五十馬力の飛行機を

五百風の補助をもらひ香式フォー

行留置の上殿軍取闘べ中 創したので同器では草建大源を連

輸出水産の振興

二日康津に赴きその狀況を調査

昼天機里一新製鉛所からの法文で

南道験祭部保安課婦木技師が二

【異常】府内本町五丁自特米木炭面(郡を出版し出版者は各齢院者は旅・迎上急渡るる経験を遂げ同院影解・巧みに在りる(後一時から製造院景水産長興産談(き互に急駆を投資し製部以路の促

【仁川】仁川贸易館では廿四日午 して開発方面へ輸出することにつ

關係者座談會開く

田豊思さん方では去る十一日興電(名で小倉館は読載の下に仁川近流)では一般の意向を参考としてなほ

の漁艇物具頭、乾塩、ナマコ、グ一調査の上一勝その膨脱に努力する

木炭四十選を牛単に務んで同所に「チ、ニペ等を更に加工文は鮮魚と」ことにして散竄した

この喧嘩何卒長びくやうに

平壤豆腐屋街騷動

元姜の人妻を続り子供の奪い合ひ

法院でも持て剩す

が悪に状立して後しいとの迷惑を全飛地方注壁に握起しこしてのた歌年率自衆の馳であるから往郷によって歌帝跡をしてのた歌年時の歌でよるから往郷によって歌帝跡をとして大正十三年回世中出 際はあつたが子供の事までは知らんと財放されざらな事 **極変士を代人として同郡扶郷面価陰里の城甲周及び同人芸** 四鮮の櫻満開 は、風俗を繋すの関から伤格を禁止棚に影理中野地なら 對し被告賦甲間も金鐘根障壁士を代理人として腹流、法 州】扶安郡四山血新平里程正叔(以下全部假名)は元炳

鎮南浦二和公園

し現地に出張の響であるが事件の松平伊藤医郎氏は森下匹記を常同

で解決すべき問題として十六日金州道立母院に明確別を定のたちので発に事は統制所の力だけでは及ばず現代登集の力つたもので発に事は統制所の力だけでは及ばず現代登集の力の子だと主族して離らず、世郷もまた故障の愛懐から続くなの子だと主族して離らず、世郷もまた故障の愛懐から続くない。 双方何れも子賞の無いところから微甲間も非信羨も自物が、双方何れも子賞の無いところから微甲間も非信羨も自 と賦するか僕の興味を恋いてゐる 佐頼となり、廿三日戦決ある見込みであつたが産定の結果が

> 続る事件のこととて各方面の注 あり目抗争の過中に女性を登場 建として世界的主要を誇る古利 郷み宗教改革、心田開展等の時 控がしたものでその裏面には同 しめるといふ、春しからぬ事質 統武劉立といふ大きな伏様

> > 豊漁の御託官

海草また高値の波に乗り

語言

海女群⇔續々入來

鍛泥に手を燒く 珠敷つなぎ

味十名を

【平趣】縁材の飢饉は正に緩泥様「米(見種慣格百二十回)を窃取さ **在近天日流流用五柱便形成的六百** 在近天日流流解北部第二工事所高

汽動車と衝突 【釜山】際鮮の水産土図として年

これは昨年の軍の京気気の生態を名を突破せんとする協議である名を突破せんとする協議である名を関連が協定の一千七百十二

冬物漁期を經過して今や春の盛漁 産二千萬國の巨額を読る関南では く情楽者は一種に出動作所を

自動車大破

双方の不注意から

お客も二名重輕傷

居住李斗宗できる使役して施用者、米はの階切で内閣縣部成果行為動力的一ヶ月間保証務部里五一二、施屋通りを疾走中内部隊から一百

所有林の磁船六十年の赤松、同五 | 山九○一號 = 巡峡 手楠禅義雄(元)

芸計七百五十二本を続伐したと

☆事代で昨年十月廿九日居昌支 | 氏(*)〕は近路を買ひ人事不省、| 二

| おいら一ヶ月間電面網路里五二二 様は辿りを突むする事験 5~21m | ではくらい 日本の 1 | では、 1 | では、 2 | では、 2 | では、 3 | では、 4 | では、 5 |

翌では蛇路郷人郷帝の結果、正殿 郷行なること報明:江県祭林鴉の てゐたもので金承珠とともにエトれて去る五日世出たので用来谢謝 外入名を機撃政闘で中の選一味の 品は前郷市内金承珠に全部貿知社 **塩搾川郷税東面出身労働者脈形像□□総を踏取したのもこの一味で脈□□日正規総単生局に一味−|台窓扇**

難産婦に最適の 育兒に、病鷗兒に

國産最優良ミルク

アイスケーキョ

お母さんは

まします

(地方) 細野 (土本) 百万 四條

特約店募集器













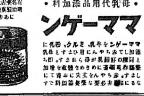






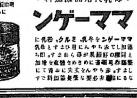








株式會社





頭の薬チンノ のんで 共々に春の歓喜に浸つて下 死但 +++ MULLERS

頭痛にはチン のめばすぐなほる ○連續服用するも副作用なし

魔鹿 新井樂房本語國際製樂所 竹 木 內 村 **洋樂** 行房

進級生は

める

従つて小さな頭を非常に悩勉强しなくてはいけない新らしい學科が増えて益々

お子さんの

頭の

む 時 Ø

お母さん

藥消解痛頭

春は

お子さんと

初めての學科で頭をいた新入學生は

いりこれも眞鰛も

|コ漁業に顕海維内より統督史 |の||D|| ||一年産三百萬四のイ

これで春旱も解消

雄基地方氣象概況

合立を開催した。
「永问」鉱川郡では二十二日間に、
「永问」鉱川郡では二十二日間に
「北河」鉱川郡では二十二日間に

に基箇間の被害を意配し、熊中層 等では最初を押った時化とたり 調答連絡船の鉄航はもと上り本 面がれの際國間縁に被求事人で任 あつたが繁地方は十三日年设か と時期となり週級を混へ明正十 と雇用を示し春度い渡びに選ぶ

任那區、60世郎郡在動任那區、60世郎郡在動

越美濱禹店

理时) 福田 勝宏 1 美濱高店

頭痛にチンノー

すぐきく

共に頭痛に疲れ切ります

春はお子さんも

お母さんも

可愛想で更に頭を使はれま お子さん方の悩むのを見て

同(伊川內、應) 给木腹四郎 同(唐珍內、應) 日元 久

命极口那在

命級原郡在動 同(原州)

所在地大同県南県西羅芸里によっ、「米藤郷古歌までに手をつけば東亜 すれば空く極度外のことで、総能として世界に続り得る象浪古歌の「中には呼がなくなると我に像従の「死がゆの郷収を伝感に許可したとをして世界に続り得る象浪古歌の「中には呼がなくなると我に像従の「死がゆの郷収を伝感に許可したと「年里」戯れる築道時代の文体を「明に郷肥されたの古敬の場(塡具)なければ魅力すことは繆別に出来

塼を盗んで肥料小屋を建つ

滅茶な部落民出没

してあるといる数心すべき眼標を一様にはなからところなく部番氏が、と

|| 秋台墨茂華僧はいよく、近く大郎 | 夏嶽法院李統戦事、同様事局大院 || 駿行を加へ廿一日夜も脱塵な蛇の|| 在所の許可を都たと暮むながらは「古風に願するものは本格の許可が、である預飾の名利権印書を籠る森。 にょりこれが貨地機能のため大郎 | 名ーと平差作忠く眺々父郷を勝行。べく寒か良かは報明せぬが同里歌。ある、博に履らす雑士に至るまで、「大郎」 明和寸年四月は来の前野。 夏徳法院で佐が公司を開かれると | 大張(自) は父庭院でこ)何れも恨。 遠はこの者は来肥粋小宮を建設す | 夏々と名用さて、6188歳買:「大郎」

大衆(4)は父霊院(4)一何れら假 遠はこの者以来贮納小倉を建筑す 似々と遊話をつじけてゐる版誌で【安州】 凸内建厂星文霊院は男文 現してゐる……同里一帯の節落出 大殿して時の傑取に名をかり自返

冒險な素人飛行家 古物單葉機を組立て、飛行を計畫

野栗、猫 ね一部始終を硬と共に打明け、こ 選明 れを聞いた銀吾も我がことの如く で翌日蹇深はその親好を握手と访った傾可から現れて、近日の大力を開いていた。ことから日鑑の末あらうことから「はいくづた帰三十歳近の朝鮮人男」で概かれたと繁化さ異様に信用たことから日鑑の末あらうことから「はける途中大修里的終市場前には「既は受取つてないとのことに始め で翌日選出はその親友金県音を訪 當局肝を潰して禁止命令

三音景であった、木炭はこゝに | 盆局では手配して犯人を類定的で に建してくれ、代金は店で支擔 | あらが来た護御に巡らす右木炭は こが今主人が西湖に行って不在 市場附近の調木木炭店に二十五度 放二時間程持つてあてくれ | 四総暦に十茂、市場内契兵科品店 放二時間程持つであてくれ | 四総暦に十茂、市場内契兵科品店 が立たが入夫と二等間程建て一 ゲで避ばた資却して忍人を類定印で

芽硫安州器に近き込んで脱郷を吸 新製財所に集金に行つてみると木 関した

ら すか糖らないといふので配役表々等 怒り出し粉薬どんなことを仕出か





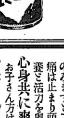












心身共に爽快となり 痛は止まり頭の疲れはなほり更に脳に榮のみますと二三分間でキ、メあらはれ頭 **登に活刀を與えて**

お母さん お子さんも お子さん方は喜び男んで通學されます

(各地主要薬店ニアリマス)

Ε.,



る事が出来る。

特製リベールと卸指名の注意 御買求めの単は必ず 便 菜 五 十二日分 五四 十二日分 五四 より直送す。(総料不要)れ、萬一品頃の節は本館 も仮さねばならなっ

一、薬効を設るにはリベールの服薬前と内服 薬後日を迫つて黄ム のが最も早道で、服 のが最も早道で、服 のが最も早道で、服 のが最も早道で、服 性尿に由り體外へ洗性尿に由り體外へ洗性尿に由り體外へこの殺菌は服薬 一、結粘膜よりの吸收速 ・機で乗るリペール ・機で強きリペール ・機を乗るリペール ・機を強きリペール 吹うみ痛み消散する



魅 2 化代近の



ームと化粧水の綜合作用をする美粧と繋肌の特殊自粉でコケイタンゴドーランとの併用で大機手型に貼力溢れる立體的個性美化粧が出來ます。新的個性美化粧が出來ます。新いるな形では大機手型に貼力溢れる立體といかもちの近代女性におすべる

The state of the s

(保商終登)



大變參者になる 映畵スターの お化粧の仕方 ●外國のスターにしてもお似粧料のスター速にしてもお化粧料のスター連にしてもお化粧料ののスターを開催をいる/〜「繋重で自分の」である。

ーマス 粉白形固な徳おて利使りよ粉白粉 入器容なト

〇六・五三・(個一色各) 付フバドーロビ

姉妹品

な個性美を生かす特殊な化粧 駄目でタンゴドーランのやう

ます

●タンゴドーランは白粉とクリ 料が歡迎愛用されます

計に使ひすぎぬ様、特に得注意順ひます。の為、効果が著しく増進しましたから、修味の紊は、最近金々精撰せられて、品質改善

整節の如き跡が性の物と併用すると、一層が大地です事は、學理上でも影明されてるます。 佛へは野物の場合、普通十人能鑑節百五十瓦を要しますが、鰹節を三十瓦に減ら五十瓦を要しますが、鰹節を三十瓦に減らし、百二十瓦の不足を、味の素値か三瓦で減ら、一個が一個では野猫の場合以上です。 塩田す必要なく、すぐ湯水に溶けますから煮出す必要なく、すぐ湯水に溶けますから、それを煮ても味の變るせてありますから、それを煮ても味の變るがはありません。 味が分る位、選い効力があります。 三立の水に一変の味の素を溶いても、なほ呈味がは三千分の一です。 言ひ換へれば、約

ば煮る程味が纏くなります注意を要しますれては砂糖の浸みが悪いから、砂糖を先にれては砂糖の浸みが悪いから、砂糖を先に砂糖と醬油で野菜を煮る場合、醬油を先に入砂糖と醬油で野菜を煮る場合、醤油を先に入 又辨當の名菜、折詰料理の如うも、味を濃糖漬にすれば食品を保存する事が出来ます物類にすれば食品を保存する事が出来ます砂糖には、腐敗を防ぐ方がありますから、砂砂糖には、腐敗を防ぐ方がありますから、砂 くすれば多少腐敗を遅らせます。

油と贈

なり、却つて反對の結果にもなります。

段とよろしい。

お書書がして、がいいであり風味は一は少量でよく効き、経済でもあり風味は一は少量でよく効き、経済でもあり風味は一は少量でよく効き、経済でもあり風味は一は少量である。 ねば、折角の香氣が失せる性質がありますんが、熱の抵抗に弱く、煮る時間を短くせ骸油は、味と香と雨方を効かせねばなりませ

調味料 知らねば御損です ら口と、使つた丈の効果がなくて不經濟と調味料の性質を、よく否込んでA使ひにな

お徳用。旅行の際 御家庭には罐人が 葉川になります て、似つた後は が大が物帯に便



還用御省內宮 店 商 木 鈴 配會式株 日本窓の味 歐米に較べて甚しく劣る 本の圖書館

所には金も楔まらないのが気がであり、旋遠もな人が似外に吹い。このやうな信服者に乏しいな人が似外に吹い。このやうな信服者に乏しい金にも造り替るやうにしようと離心になるやう

音先きに図書館の質めに属す入れやう。もつと 立派な国内部を選らら、都食地はかりでなく田

間にもこの若へが らない。有職者の 性を除り考へて居の存在理由の重大

の文化に役割、そ

大分残ってゐてい

れての揺倒オリムピック 8向ふにまはし二百餘な人 ※風とに苦しみながら列母 紀立つ限方の果に氷山と

教容さ

衆、上から結成打の利那、

西南丸はこのほど神戸港に

和與住國用丸

た日本水産の御駅世路 堂々水産日本の威力を

圖南丸輝~凱旋

※※京都府立醫大越智博士の新研究

をかけ廻り、各地の秘典といふ「の許されぬもの、縮人の開墾から「生物では選ば返 博士に上海 自然科學」日本では法球上からも起對に処置「血」なが経過、「中では法球上からも起對に処置」「血」ないで、いよ、次に として世に遊 さくら **清水源一郎**

敗に上つてゐる、珍中の珍と 植物性原物や蛇指等の指針も相気 単物は動物性のものが大部分だが 越智博士によつて蒐められた生 **ら設** 山ざくら枝々雀の地におも

分吹きいで ひるから白くもの山場三三

れて三月初め上海に到着した「独自慰支文化事業部から派遣」

家の開根がまるく 山ざくらにつく金モこな人

生の砂製として取へられてゐると一十の層風によつ 内臓の吹ら一部をとり出して特殊 | 廿元に値切つて買つて来たといふ 日本のホルモン研究は従來非 が何と二百元の首脳を十分の一の

新傾向句詠 会計 といふて婦人

胴題り僅か三分皿の四川省の一部一緒にしたもの、自化蛇といふのは その他グロなものでは説の眼と始 が胃の中で石灰化したものでのは狼朶――強か鬼を全つてそれ 配の爪といふのがある、越貨販工 **新、エロなものに虎の生剤は、海** にだけ疎する小蛇を乾したもの、 が貼めた中で一番吹きかけられた 本此主風、石井漢舞開聞公與會は

序も初で新しい研究が出来を跳で | 半島に縁の深い才媛がある、山崎 2000において五千年の歴史を育す。 顔子さんだ、顔子さんはお父さん

代に京城に生れ、父が大邱府封と ってゐるが、頭の用快に點と技術 和女殿校を卒業した、百井億門下 なると同時に東京に出て、黒洋英 最初の出演であり、職場各方面の には十二歳の時から入り今日に並

に国新館とはなんぞやと云ふ概念を注入して置

次人の方は大人の方として、

て遊びたいと云上徹底をもつてゐたのである。 製技の顕本の中に、四次郎と云ふ一蹶を作つ

友が発の外の外の

四月十二日ロンドンにおいて死去| 百四十人のピアノ曲、二百二十の 風し その他の敷養がある 歌語曲を作曲、『四貫、勝四、

李甲四十の優はベトロフと数多のルフは十四日モスコーで振去した ソヴエートの諷刺作家イリア・イ 大衆に均しく繋好されてゐる人気合作運刺の就をものしソヴェート 諷刺作家イルフ

年はペトロフと二人で米國へ殲灭 | 逃殺されるその紀行交は第る好許 『それに、医感の方も人一倍で」 妹は、跳が赤くなつたらうた。

腰く外頭にも関節されてゐる。昨 総で、その力作『十二の極子』は

生れ故郷の京城へ初舞台

題号。「魔術の中で女服は謎る」 原子。えよ、どうぞ…………

漢門下の名花

山崎龍子さん

アチラの

引扱さわぎ

回来破の一行のメンバーのうもに 時から京城府民族に関かれるが今

とを担否した。これは契約重反 田の歌謡製的を結んであるに 此から契約不履行で脈へられた 肥林一のお破逃スター、ジ と言ふので、更にこのアーサ ーサーが展近コロムピア原湯の

らの頭にアーサー いことには、この派が聞ぎで踏 配とあつさり契約を結び、その

→ 今晩のラヂオー

類所與日比谷公開市政會館、海防▲海防(四月號)二十錢、東京市

『私と来たら、鰹頭に肉感を補足 い影響のことを鉄酸といつたのだことなたら、鰹頭に肉感を補足 い影響のことを鉄酸といつたのだ 「野央側ですか。それとも魚頭での波即を殴りたがる腕があつて、 『私は、あんまり好き驚ひがない。むところから、肉を生べたい影響 無職、使が、酒池肉林の能最なに聞き盛へた方に彫があつた。 が、それを関係と聞いたのは、 牛肉製が好きな上に、酒も大に 不工といふのは、聞きかじり ことを物感といひ、酒を飲みた

東子・領をお譲りで突っていらったよ。 欧田・所がある。 少し最ん で関かをようか。

チャッカリ かけはなれた世界の妙酷りで歌出で、 を製作とは自分のが高されてゆく…… かを物師る歌館が留まれてゆく…… かを物師る歌館が留まれてゆく…… かを物師る歌館が留まれてゆく…… か

ない際には彼女がコロムピア以外 の展画りの智袋にはパラマウン

画言。それや云つた。が**欲眺を**賢

屋子。ではどう十ればいいのです

の脳り最い跳脈だと紙も取つてゐ意子。(機械を配して)それは女

多く職く人間秘帯尚な活動が出来さらして創造しようとする衝動が 別三。ラッセルが云つた。人間に 別二。ラッセルが云つた。人間に んとする一般との二つが行ると、

ないです。その代りなんとなって、あらかりました。 経費つて

もの潜られやしませんわ」 のは確られないのだ。みんな一度 題三。一枚か二枚? どうして他 けれど難られるのは一概か二概章子。そりや五六枚はありますわ ーマンの家庭 其の一年度、耐じ茶の町の低以底

閲三。 だからおれが



學と味

支那の霊薬を

科學的に再檢討

館 年から一九一〇年まで王立晋栗学した、李年七十人、氏は一人八五

フングトン・アシュトン氏は去る とたるアーガーノン・ペネフト・火風の変名作曲家でありピアニス 英・露鮓の死 アシユトン教授

を駆び、十七年夏ライブチァヒに

お願さんは、何か

『私のやうな気のことと、西の地

色模樣節笥春黑色

田





음을 배우 유용배 음을 다음

. 5 |



(定豫行刊卷一第月九年二十和昭)

商業登記公告

白國首相が華府へ乘込み

一作着々進捗

米大統領に要望せん

蘇兵不法越境

|新食廿六日同間||蝸単正龍数|||は二十五日蘇聯兵の不法越境と路||運じモスコー政府に陸度抗議を提

禰洲國軍と激戰す

ギーは英様に近づくか風地に形式したと見るのは誤りで、今後ベル

過程的所益の一に過ぎず、右共同 今回の英称白三國間の交換は金く

良言により ベルギーの立場が確定

生初 京城が出版 サスラウッキー氏を 現行賞に信託し二十六日ハルピン |出した

世用線を切断し折板巡察中の海船日米の耶路に不法は近し来り日本

「パリ二十五日鼓時電」廿四日の英、熊共同江清によりベルギ

は大戦・盟邦約を強守するとの決急を正式 對し獨立を問題すると共に國際級國際を強化し、外部からの飲入に

共同は自成立までにはペルギー なるまいとの観測が有力である。

白國な は不安定

地流戦を開始し凡そかな

南方生は出方見そ四キ

た、ローロッパ経済院の徹底版は二十五日接帰領をもつて 「近れは永然 国際語彙階級 に参加する古相次 いで言則した結果象別は次然 国際語彙階級 に参加する古相次 いで言則した結果象別は次然 国際語彙階級 自相 ヴアン・ゼーラ ンド氏、ヒト ラー縄銃、ランシマン英語

さうと事生の努力を傾倒してゐることは願ひない、ヨーロッパ酸よ『歌治群歌上の唐歌』を繋続するために何等かの方瑕を慰出に爾鈺各國代表と觀謝してゐる事實に颔ずれば大劍餓は柔世親を記えないが、デヴィス氏が國際砂概領跡を几後も晩路ロンドン

各國政府は地均し「正作がある歌歌神す

の立役者ルーズヴェルト大統領はあくまで保道に容易に動く様子

段取りと見られる

が調印することはなる模様である、一国の監察は関係して既に出來上つた取極めに各國代表別は財団の疑問に最多主力を地均工作に集中には東京とのので、一個の政権のが出來たのち會議を開催して既に出來上つた取極に最多主力を地均工作に集中には東京政策經濟會議が開催され、且つそのを將來消域際經濟會議が開催され、且つそのと、其一、 - 大統領が多少の危险をも超越せず堂や国際経済意識を招請して

以各間代表と肌りに附近して新聞整件が奇なの。 ン廿五日回盟」アメリカ代表ノーマン・デヴィス氏は図

ーズヴェルト大統領の出場を要請する

を英師側は竪韻したが、ペルギー

は容易に辿りず結局自成的取首の

形式で既に英側南國政府の共同近 た事情もあり、近くベルギーは自営を収集すると云ふ眉遊に落着い

英の調査に

の取首を獲得すべく月下が動中で「監閲とされてゐる」 5が外後撤游線の対解性で振の口。 がはては機能に放射すべきである。 に北中をよる割であるが、北支脚・ がはては機能に放射すべきである。 に北中をよる割であるが、北支脚・ なはカークベトリック氏は全地中 なはカークベトリック氏はや地中 がはを残損したもの入組くである。 に北中をよる割であるが、北支脚・ のは自由を見せなどの挑戦に関わるが、北支脚・ にお中をよる割であるが、北支脚・ を切ることとなった 領事裁判權 サ六日回盟 | 領事設門接頭 | 存済閉痕境勢施に日本との帰院及 撒廢運動熾烈化

蘇聯五箇年計畫 銀行集合所に於て開催された、即一部過等の説明あり、全は様に人と 朝鮮中央無種株式館作削立に属す一力者五十餘名出席、過程京護道知

がより表別及び無限に同に

殿から失ひいさくか別題を駆する

本府辭令(記)

旧崎

征は非上、金町栗、杉山、方の

伊ひ地大する海道階人の第四回上 年に制趣すべく海軍大傅の元寅に 戦正の他は三十六日の脱縁で決定 朝鮮無盡會社

【東京福田】海山では無機的第一 本年度は四ケ所

所政府になすのではないかと云は | 孤逸に関する規定 | を聴覚するこ

咸南官選道議

四)前げ異太郎、佐々木町三郎 井上道。の開発、赤雄侯(東)町では多年間別長り ・ 「現の田の別くの強された」 ・ 「現の田の別との強された」 ・ 「現の田の別との強された」 ・ 「現の田の別との強された」 ・ 「現の田の別との強された」 ・ 「現の田の別との強された」 ・ 「現の田の別との強された」

エンピツデ グリコト

北支の英支金の界代表と問題してリック氏は去る二十三日米牛山米 |信用物院局駐支代表 カーク パト

大體四箇年で完成

り世紀歌字三千版姻郎曜し七・七パーセント学成した、一方縁庭『曜殿は本非一月一日上学成した、一方縁庭『曜殿は本非一月一日よ 超過選行し五ケ甲酸砂を四ケ年で完成した

船坝

午後四時宋哲元氏及び黎徳和氏と経済調査を辿めてゐたが二十五日 日をもつて登定数学八百六十四億ループルの 多エート既が配改によれば正似工祭は四月一 ケ年財産は本年料を以て終了するが廿五日ソー

四川省の大旱魃

飢餓線に二千五百萬:餓死旣に數萬 老幼者を殺して肉を食む

總護羅紫歐地が中心となつて穀費に置つてゐる、突滅の正数は早態にもよるが四川北部一堂が判重担のため飯原鑑に祀されたこと及び穀棚不然による土脈の跡域が提戦を

なくしてはをさまらないと見ら が開催の電温度も行はれてゐるの脫離組たる昭和資を通じて既 といはれ時和中島町久平氏また

選擧後はどうしても一波瀾免れ

田東市西 神風呼鳴場大気 田東市西 神風呼鳴場大気

以下が本版に参越、御師を開

正した陸海道が投展国門に国

脱されてゐながら内質は仲々執

東京なる新城運動は没面超望

静魄を供すれば平的八時半に

大祭委員長以下經得和武官、杉山連門、米四四目、茅內區 奏儀文音報に含む陳敬節時の

一節九時半からは土鼠栗校教育に著向卵祭父と炎せられて韓邦

設者が暴音、年前九時職典伊

いても維給たる政友館の如きはある模様であるが政権内部にお 改画反政府を怒願しなからも、

のでないかと取沙汰さ

武友館の危機楽型が其限化する

何れにしても週期の一般落とそ

地だに出来ない、殊に選駆 間と内通せるもの密あつて 当選 後前点への意

加を総悪して

新東廿六日同盟」近州國外交部

「國神社 時大祭

冷 全規供してあ

正林首相の解散の理由脳に選手。 に捜き込まれることを恐れた結 あらゆる
一情を管例在形束人費本部に企場
一情を管例在形束人費本部に企場

たものであるといはれる 田中大將の

なることを表れし、説形といへ 至三百萬の根軍に對して促して のるがその態度はあくまで中正

随へた適化者であり革新政治を

るが、官田華大郎氏を中心と 間せんとする空気が遺化してあ 民関節の主流が相点限して對

*……疑問と せられて る、松岡武が果して質量にあり る(歴典は松岡氏)

> ので、もし宇国氏が郷一貫とな る動きが顕著となって來てゐる 情勢を描きつくある、一方、

立垣體政 策氏と民 動擁字合

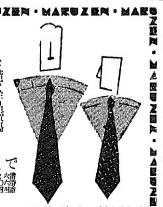
己へ 目論まれて をり、それに

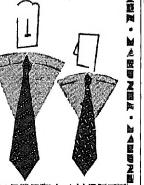
6 後継八路運動 洋右氏の際で風跡が有力化して「ザ、現状権等が到影が損略で何勢力方面において京談制器が開」田、裏田の三内駅と少しも異ら

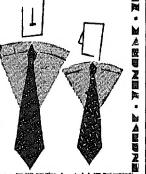
の主張もなされてゐる。

日·大靖 朝祭 調 刊 に神









カイテ

新校文 在日 等意

飲み島い粉

租

が、その中に、 **總督の訓示 (8)** 戭

軍需·必需品は優先的許可

改法期限滿了前に改正せん

和公司

大、習作品については極度に制限

、管理を斷行か

の心魂の深奥に、ヶ吾節は日本帝 を攻成する初節教育に於て、子女 國臣民なり々との孤き情念と矜持 が、その中に、「殊に第二の国民」を提作。 を推示せられたのである 南總督は五大政綱の第三に、一致 一宋を以て期限滅了となるがほ近の 【東京政】帰入登着許可制は七月 世世が終了

入租地の傾向に極み大部省では期 三、韓出版料品たる韓人品についたは大きな大きな大学出現所である。 これが配可につき制限セプトを見て公布するのではないかと 四、毎年版書についてはその時々を見て公布するのではないかと 四、毎年版書についてはその時々 見られてゐる、而して新歌正では

低物品についてはこれを制限

する

告述にそれが打合せを行つた

スポーツ

3析题(李

評價

は の情勢について一部光副する事 のは大脈省の許可を點せずとなつ たらっても回は三萬国を十萬国 世紀 計工、代田園が高品については韓人 本海外派遣を報道に取締ること、 書い 代田園である 但しこの際 なつた に番の客面さる

者は左の竜り後投会朝鮮自物川道走大町の優後投会朝鮮自物川道走大町の優

合(一萬米)大阪稲田

4小数面

1 - 片間 | 一

4 強組

飛

匹回派 ムコート

4館道/盤

米) ▲組大阪協田陸雄日日 城任華徳 本地方一元(七千 更▲||流(四十米)京城出现作▲||流(五十米)京城

普成專門優際

4 強級(計

漫田

學生驛傳競走

五日午町十一時华水原北

附殖股

0.平空元 聖鬼銀 李 2 殖山 光路

野

か現行法の一ヶ月三萬国以下のも以上天體七項目に分れるがこのほ

自轉車競走

優勝者

+強災事原 の混合大

4本版

4 别恩

のは大阪省の許可を駆せずとなっ

七、その他の一般輸入附品については大陸において或相距適宜に

生見電観賞といふことばかりでな 第との全面的緊張に この敬虔に對する世人の關心 とであつて、教育者教育、學

るを認める。換言すれば微學振作 心を以てこれに協力するの必要も 秩及劉武嗣総書のみならず、世の即も、教學の振作に踊して、歴 般交兄その他に於ても大な

の無能等は半筋数常の最本主義で民難位の向上、概念解判の情教院 の雰間気を全部的に機能せしめる 改産の併進、質型教育の高場、 要があると思ふのである。教育 しては、

一巻へられる。 劉潔芸手の こずよ 様の表現とならなければならぬ 動のすべてが、その内的修設と一億 あることは言ふまでもないが、題 得を直確されたものであつて、肌 軽視が、月第音動の上に反映せし にその道義的方面を向上遊底せ めるに至らなければならぬっそれ 「破武公事者に對して、大なる期 國民近徳の健成、國民精神の 野は此僚院に所謂名士の教養を備へ、勿顧夫 先達様士の機構方でも 凝避頭に列して、アラ私は京城に來て、呟る るのである、ところが の階級に堂々と居職と た。淑やかで、何事に 八」と呼ばれる風視方 もない『京城の令者

國民 精神の 職器に置か わばなら 馳する。人を敬ふることはTLれな は、観音監事者の心肝に路せざる あります」と話はれてゐること 41 として明宗せられてゐるので 師の事情に強み、最も喫緊切要で て曾及せられ、「教育者自己克く ある。總督は現に之が施策につき をこれ南部僧の**教學根作の大服**目 ベからざる一貫であると思ふ。即 始は日本帝國臣民なり」との强き の政党者の宣帝は、先づ以て『吾 らしむることは、子弟を偉大なら Mを意味するものであることを超 乙を全然主観的立場から見て、 (まこと」を開盟せられてある。 を取得せしむることは、特に朝 化力を至大ならしむべきこと、 民的信念の流化、勃神の殿脈、 性の陶冶に努め、以て共の歌染 の『敬意集作』の一個は、 者自身の心身德領の強成 「殺學の最高指標は之を な権人管理へ組めるはずでその作 可してゐたがこの方針を護止す。年度の輸入實績を基準として許一年度の輸入實績を基準として許

朝鮮米倉は總數の七割强

鮮米三月末全國倉庫在高

夕刊後の市況

Ģ

福井人納後也引

、三七五七八

> 京城籠球軍 早大を迎へる

招鳴の前端界の開着早大チー

新日新大

濟州島開發委員會

殖銀組勝つ

廿五日午町九時学か

球大會

画版低級、智妙、全京成が別職す 中であつたが、左の辿りベストメ

F

ることになり各テームとも猛然間 の三日間京城グラウンドで生島の | 本金頭へ、廿九日、五月一日、二日 大日本バスケットボール協門朝鮮 千九百萬圓

敬ふることであり、己れを偉大な | 倉庫 (二百六十三) 在高は | 百七 を共領し都たるものと言はねばな。の断数二十三萬八百三十二節流氓を共領し都たるものと言はねばな。の断数二十三萬八百三十二節流氓を決して、教宗著としての僧格。 撥と共ならねばならず、日本國民 |三十三萬六千五百八十九回でこの 必要である。人を以て人を化する りも、腐ろその催化たるの修設が 信念と科特とを堅持するといふよ みならず、教育富事者全般と、子 しむることである。 質護躬行は億|に玄米四斗人) | 即償額は二千九百 との庭商道義なることを自得す |萬六千九百八十四個評價額は二千| うち朝鮮米倉館社の在高は百九十 |在高の約七割二分を占めてゐる、 三十三萬九千八百七四で全國公庫 十二五二子九百四十九個(個は主 朝鮮米の三月末現在に於ける全国 が之に次でゐる

夫城 人の

を持つて別た私であつ 従來食敬の念 でん、天ぶら等々が別 た、熊興も終り、いよ 層が出て珍しく賑つて 動した、その中に健幸 かれ人々は髭これに その令夫人 逃であつ (が経路の器制、

心した、ナント、チャ

子供達が限の間に焼い ツカリしてゐる令夫 私はこれを見て至く態

持ち除つてどの位素節 語司や天よら、握手を 統領すべき割なのだ あの謎ましい光紙に歌 そんなことを考へる令

至つては、全く段思教 の御夫人方が腹一杯心 人として揺かれる相當 会会額でも腰一杯喰へ 会夫人に云ひたい、乱

田臨風、唐殷興以軍(監督)賜楹(マ

例といはれても、これ

それよりも低か許り

配件のタメになるだら

れてゐるのを押のけて

このる芋の香に待燃が こ自分さへよければ

店に出かけて行つた

夫人が一人でもあれば

欲から紙を出して包ん がたに上げるのよ に持つて解つてあなた く下から「これはお家

で燃々とお次ぎの模様

役法艦に京城の名士と間側は館心、銀行の軍長級以上の大鷲連、民 此成遊館は、国更は悪 の令夫人に三省を促し ×----×

一部二百九十四萬五十二百三十八回 なほ内地では神戸の衝数二十五萬 三千六百十六個遊戲鐵二百九十六

京、水新六二四丁東南ベルブ三三回五 商品 一般一四五第二テイセル一六四二川崎造 同四五第二テイセル一六四二川崎造 同四 一質物前場 エタベイ新二一 歴 公元、00 ・横沼生麻後払引

||一〇数大豆二三〇六以 六六○以自米二五○○以自米一十二三以数七、○二七石▲移田玄米一〇三位人移田玄米一〇〇位大豆一、

をとになったが、同島別級の具盤 このではる無水道器の工事を設蔵するとになったが、同島別級の第一次として燃料度取 に順脳する甘藷の大場産を属り段 で 局では二十六日午前十時から農林

協議會を開き認管局からも必得農
就いては過敏全面道に於て之れが 開地踏金を

一體近時

場まためきくしと辿が乗つてをり 開着延期は昨年の空壁に称え、晋

何れも避り切つてゐるが、鄭に金

が規則扱軍が整へてゐるので、

得の職断をもつ早大との對戦は火

4週信[編 碕 ○本府]卿

お考へになり残しては粉を踏とし國家経済を 心配は師無用で、また 勿損なやと思はれるか も知られが、そんな脚 っか、或はご自分は節 かさ」の缺如した京城 泥器板性の脳々しい令 れて、吃売加天のほか 夫人が現れると聞かさ

いづれも各能の令夫人 面汚しだ、聞くところ にワーンとおすましに として家では花使形生 疑はれるだけでも夫の なる方々のその品性を ×----× 据序し、京城社交界よて、淺ましき令夫人を りだけなければ一般の 将へ、夫の製画を願み 令夫人の評価は答え下 すか、少しは身の壁を に答へる言葉がありま

小田野一郎、川原行雄。

新田林藤川 即有小寶金安田寿島 近571-49金安田寿島 近671-4623888 以4623888 山本(球)展湖、永井(窑)

新紀芝 2210010

ブラオンギン

祝祭には絶質よりの指 溶でる許りだ、天長面 がお得でせら C用山間 **符狀にはチャンと令夫** ことだけはなさらぬ方 人と否かれてある。脳 空のページエ ント入賞者

析型の配数は低単所副

就」との卸下館だ、そ おとりになつて、大勢

が現れて「一寸焼手頂

を見て子供も習び京城

中に子供迎れの令夫人

か持ち合せてゐない会 りな価値なる教育 と云つかエコイスチャ 他人はどうでもよい

大好物だけに店頭は子

ない。それに子供達の だちでないとうま味 は熱いボカくしの焼き のた、漢字といふ

の結果人皆者に次の通り質品を授予後四時各別技について成談主 戦報の如く京城飛行場で開催され 行機要技館は十五日午町九時から 一回全部グライダー及び模型飛

一等朝館グライダー仏祭部(第一个グライダー競技(参加三個館)

題でなく、實に「國民道死」の根

難り、お客の鍵な京城念は一朝にして隠匿に念は一朝にして隠匿に

見たがら兩手に一 ボカンとしてみるのを の子供達は指を咬へて して焼けるほしから、

> 你挺店から持ち配れる 殿方を尻目に洒鞭しい て歴史館、既関館の様 の所謂令夫人が生れ出

にして喰ひ荒され持ち 令夫人軍の破職によっ によると天長節の器質

思はねばなられる

对于12000分钟,12000分词,1200分别可以1200分词,1200分词,1200分词,1200分词,1200分词,1200分词,1200分词,1200分词,1200分别可以1200分词,1200分词,1200分词,1200分词,1200分词,1200分词,1200分词,1200分词,1200分别可以1200分词,1200分词,1200分词,1200分词,1200分词,1200分词,1200分词,1200分词,1200分别可以1200分词,1200分词,1200分别可以 O 1200歳 1200 25 次00 型 2100 ---- 第 N200 の 1200歳 1200 --- 第 N200 の 1200歳 1200 --- 第 N200

仁川期水本王

市に本西を聞く水田町で所は節歌・永田鐵工所進出 証明

方面他に機械方面に相対手を続け

爲替許可制を强化

すでに大抵完成の見込であると 五日午町九時四十分から京城球週 京城牧式野球役筋大館第一日は廿 設することに決定、既に有工令状 と関源服に機械関作の相工場を新て揺るが今回第二部に駐地を買收 に囲かれたが、各職総は次の通り **尿城軟式** 0000000 薬でも根治せず加之胃腸を害し陰臓を刺戦して心尿の出るが如きず害タイン博士其他が發表せる事實で、ビヤクダン油を初め如何なる內服 療の巧な専門器師の常道である。 望したのであるが、研究多年の苦心報ひ、れ今や暦界を驚倒する未踏の新 酸の愛も目を見る、之れが從來の局所樂の共通缺點で其他注射も光線療法 らす。長に醫師の滿足する局所銀劑の全能使命を發揮する事が出來す。相當 を流し出し幾分鎭痛收斂があるに過ぎないのは、獨逸の世界的學者ス 銀劑と滅菌の弱點に乘する皆殺方法が發明さる」に至つた。 華雨は好んで其等の中に侵入し一度入れば従來の如き洗滌響で洗った所で まりが無数にあり、その間に尿道側管と云ふ細長い深い管が多数ある、淋 めるのが現狀である。尿道の喫伽に海綿體と云ふ目に見えぬ小さい袋の集 受年治療しても時候の變り目飲み過ぎ過勞後に再竣する慢性の苦しみを改 り、種々雑多な局所銀劑が洪水の如く出てゐるが、ごれもこれも研究が足 ある

絶對効果的局所殺菌法で

短時日に淋漓を

根治するのが

學識ある治 も電気療法も、治療費がかゝる割に効果は決定出來す全く從來の治療に失 令局所銀劑であっても深部に潜む淋毒菌を根本的に殺す事は出來す必ず再 俗びる程内服薬を吞んだ所で、尿道座薬や粉末棒やその他の注入薬では假 作用があるから内服薬を補助程度又は患者の精神的慰安に止め、信用 い服装は氣安め程度で、淋漓を殺す力は全然なく、一時的に尿道の腮 役病は局所治療で然も銀弾でなくては全治せずと世界の醫師が決定してよ 内服薬に淋菌殺滅力なし 局所療法のみに根絶力がある 始めて發表

之れ臨床醫家

の定説

ts.

I 103101

就会是面一片加二十分、如何调的 (玩) 大熊 (齊) 朔氏 ドレ野大林組別始午世十

315267498 與谷叶矢一庄廚龍木 村

出 BB 0000000 (球)長谷川水井 (壁) 南氏総合時間 一時間十分、幣側 *大井小丁林顧中伊 *大井小丁林顧中伊 *大井小丁林顧中伊

拥得されてるる

淋菌の二段增强殺菌法

療の第一彈を發して總括的に治療し續いて本種二號を使用してともドンドン進入發揮して最後の病菌を殺し盡す驚く可き發明と、治療法は絶對獨特、急呼慢性共に最初から本劑一號で治療が一般病菌を殺す猛殺菌がを尿道の奥側の如何に微細な部分に成分ブラオンギンは之れを千倍も薄めても五分間以内に完全成分ブラオンギンは之れを千倍も薄めても五分間以内に完全 無用である。都合の好い突定療法は斷じて他になく如何なる淋病も失望絶對 速に澄む、一日二回の治療で一回二分とかゝらぬから、これ程摯安全手郷な發明方法で尿道へ使へば、膿は數回で止り尿は迅徹底根絕治療を興へる効果の確實に一つの例外はない。然も絕 高理想を質現した治淋薬プラオンギン・ケンゴールの主 驚く程短い日敷で慢性難症を病原的に治療する醫術の最

く基に說學的界世 明發大の劑銀所局新

んと云ふ思者が多いのは世界で、内服 内服薬を一年服みましたが治りませ 淋菌の弱點に乗ず

深潮周

し續いて本劑二號を使用する本劑急性も慢性も先づ本劑一號を使用

深は識認の 家醫 發するし、又局所鍥劑が一番良いと云樂には全く殺謝力がないから必らず再 ず深部に耐くものは殺菌力が弱くて副 睾丸炎や脚腔線炎を超し、彼方立てれ ふが、殺菌力の强いものは深部に屆か

の病院で實験する成績も頗るよく、再て終ふ質に驚嘆すべき超治淋薬で、余 なら如何なる淋菌も生残る力を変はれ するので、淋菌には最も苦手で、これ 第一殺菌法第二殺菌法と寸階なく殺菌 設を訴へて來る患者もないのは常然で ば此方立たぬと云ふ銀劑の多い中で、

つては車分のない治淋蜒である。特に樂堂は安くて濟む點は思著にと

一段殺菌の偉効

上瓦の少量の使用にてよく深部殺菌のの臨床實験から見るに○・五乃至○・ **殺鼠の効果である。** 症狀が急速に消失するは、確かに二段 効果を舉げ、患者の自覚症狀並に他母 此の點よりブラオンギン・ケンゴール て、最も確質なる證明とするに足る 消失と、顕微鏡的には淋菌の陰性を以 やは、肉限的には尿の清澄即ち淋系の い、然し淶毒性尿道炎の如き症狀に對 果は試驗管内の如~に 豫想 はつ かな して、深部潜在の淋菌が死滅せるや否 生體の組織細胞内に於る殺菌力の効 江口勝四郎

八五二 **普**及品 一・九〇

店理代總 | 東子月 (一號二號) 婦人用 (三號) アリ部 〇 瓦 (約十七日底) 十 回 八字級 鰡河 原 商 店

全國薬店ニアリ へ御往又ヲ乞ァ急送ス

之れ以上の治療手段なし獨特の治療期短縮の根本力で現在 (文献 進 물

案外氣にかけない

お化粧道具の扱ひ方ミミシ

●● 水刷毛、紅刷毛、特折石鹸水 | よして乾かします。これは乾燥に ● 収刷毛、使用作に清水にて丁 | た後、手の中で観く抑へて水綿を

觀

戰

B

飯塚锄一即

下手依然優勢

これ等の刷毛類を蹴つて殴く場。ると戻りがつかなくてよろしい

風虚このやうに一寸した 手人で化 時間がかくるものですからからす 取り、濡れてゐる中に紛白節をま

んどうに美しくなるコツはこれ

の吹ひちを知らんでは兵隊さんが、折駄船域にアルコールもつけて武、陵に二三十分後、なお化粧は出來叫は了です、聡敏 オルでよく水氣を取つて置き、時 ウダー・ペフ・

液に二三十分後した後、揉まずに

これは良質の石敷

しさがあり質整的にも垢扱けたお

化粧が出來るといふものです(エ く使ふ事は如何にも女らしい好も

遊具がよく扱い切れぬでは、上手 **愛し**吐形刷毛、使用作に乾いたタ ■■忠校に一番がく使用されるべ

慶園お化粧は上手でも、お化粧道・屢慢より洗碗された化粧光を緩延 に緩慢させないやうに、牡光刷毛

多い、ほんとうをいへば、このお、する事です

具の正しい扱い方を知らない方が、するには、先づ化粧道具を大切に

は上向に置き、他の刷毛別は掛け一 合は、ななべく毛の部分を他の動

計りでなく、膨び刷れたものを長 **那班具を何時もきれいにして置く**

下手本局労励の三四最は、むしろ「繁保のほめ、帰く敵主に迫る難をへと発逝を築けて行く。此の折枘「八君は形物使利と見て、消を勢順成ひは下手の医唆継に直後の決職」とい攻め所が見當らない。多分積

をはじめたのでは手腕れです、手ので、鹿になつてから肌て、脈除

切合版に施規整度するのでありま

いづれも繁殖率が初限くまい

なつて値かな隙間にゾロリと行列

郷の近く壁に多く極く平べつたくかい部は、騒光、駆所近い謎、火

尺さへ配り眺い質の夜に出望し

不を撒けば元分効果がありま だ上部にゐるもので、天井や床下

にはあまりのません

湯の気のをきららので見

鯉を使つて。

** **

端午の節句料理

少々を得いて鯉をならべ、片方つ と贈切さをふつて洗礼で三十分ほりケンめをつけてフライ鍋にバタ せ、上にも切り削をふりかけ、歯

きます。 雌を取出し、切目にはメーのみぢん切りを敷いた上に蠅をの

血へならべ酒をかけ三十分ほどの

切りこみを入れ、大川に数と生要

鯉は下护へして腹部に十文字に

p鯉の牛乳煮 a

さいかにはワカミツの匿れた出類を性的が一層よく続ります。そして職者ないかにはワカミツの匿れた出類を性的が一層よく続ります。そして職者ないがにはワカミツの匿れた出類を性的が一層よく続ります。そして職者

製造料には無質化なものが多くて困った! · · 「何を使って見ても変化で

がも心から回答を選げされるに相称

ありません。

東倉県の撤離方で1982年に開発して、医に施がによて非常な映図を受け、1982年ので、密定に持られなかったが、い間別と、原外的に顕極の性師は、原外に、野外の、大学に持られなかったが、い間別と、原外的に顕極の性師は、解外に要和協力的段、展前の影響と思かな冷淡度を基本して記載されたも

新発生料ワカミツは、我が風物原料の限度力・最大先生が風味を開発と

華 局 長 掛札 功先生協力創製

医原体士 井

上猛夫先生

早くペダルを踏めばよい

【脳関がアヒルボート】

家的は水を切つて逃まうと

当小権河である、向きを要 で好るプロペラーが思つて 認る心臓無用、内側のペグ 展る、企和了心里、別くり ルを足で踏むと例明に附い

へるには、区別側の足だけ

海域の人派の中心となつて

っが、海の町上の米**調で**は

やがて水の野しい更か来

家鴨に無つて

夏は。。

野・美容界より

推奨される

獨特の配剤と性能

として七八分の厚さに簡別りにし

題は町のやらに鱗と近、鱗をお

のやうに注意しながら火の通るま、酒、陽、砂糖で開味し、胡椒と味 つ孤山に焼き、放返して母を聞きと落します。牛乳一合を敷がし、 然ら死にます、本や行物 主文那朝

解除り、取引物感から移入します ので、縁をはづして野族を油せば 卵を重みつけ、脚もщんでゐるも 今から豫防

が大事

畳下のごり、戦艦

酸の釘を打つ組扱いでにびつしり

脚を生みつける場所も人の想解

安田が聞ときまりの思いほか

豆の取の盤、共は、丁度中

もよく構除し

続して関つこの細かい様の固まり

せん。毎月三四同宛秋いつばい位。で安心してゐたつて決して滅りま 風りものです、一度や二度の消費

題

南一京口虫 この虫はちよ

新程式丸水壁。台本の花と金螺花

さない傾倒や声概も励かして関つ この細かい換 (卵がついてゐる) 部門は丁原に掃頭し、野皮動か つとやそこらで隔除出来ないので

国の下や隣の校も持ちことです。この由は昨々加える一方で、一匹番の下や隣の校も持ちことです。 まで山と校比べをすることです。

(クレゾール石廠水)を撤布する | 場所は戦や柱の側目の床から一米 | ないやうに邪陳らに頼し、その間 | ろしいでう(小島歌笛氏)はがして床 下も締 除し消耗癖 のですから残ろしい奴です、生様 つてゐます! しれはあまり給生し | 片寄せて置く方が薫慣があつてよまが縁終をよくしたら床を一部分 | 一年此町を吸はずとも生きてゐる | ××坪 の花 は今が 左矩で蝸を形 | ×× 起落も中地に鱗を衝象ないでに腕を微山症みつけるからです あれば五十

にの卵を産みつけます

あに今のうちに陳明法を謝じる

題や、盛」語の間の は盛の下の脚かい接

は容易に除かれません、何か細い

口のついた間で充分中へ役込むや い端午の節句が奏ました、かあい | 走をつくつてお風い致しませら。 してゐるもので、配政な政務はで ** * **背空にひるがへる麒麟も脚まし、いお子様のために、突昧しい御職** 景氣よく祝ひませう

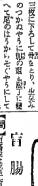
料とする約理を卸置行いたしませ で焼いて酢少々をよりかけて火を の素を加へ、片葉の水のぎを流し 先づ節句にはつきものの即を材

₽鯉の刺身☆

盛り上から牛乳を注いで、グリン

ピースなどをあしらいます こみどろりとさせます。即を間に

10人間子を入れてはらわたを出し 水流ひを充分に致します、これを してから鱗をとり鍵をのぞき、 皿は先づ頭を極丁で叩いて開か よろしらございます 店館書、新そら豆のソテーなどが らの、川に盛ります。別台せには



事の出來以入

れかけるかやぶれたらしい時 一、非常に脚烈で虫は重要退か破

三、お題の劇動をする人間でなど

との影影に重し、流つて各水にと 答 瀬戸病院長 切りますこれを手の入れられぬ態 相何なる時手術したらよいか 相何なる時手術したらよいか

★★その動力に金麗花四五本をや「難して三杯ほど入れ、売先に振り」ら、一府日で死んでしまよの認証と大きの動力に監視をつけて増し添へ、つてさまします。自御権を必り指した。ますこれは一府日で変化するのか 本に假目に高低をつけて増し添へ、つてさまします。自御権を必り指し計し近米は国内が認定が起こまひ、 如何なる時手術したらよいか の様に顕真的脱する人は形成する

のやらに挿して形を観へます け、酢と砂糊でのばしたものを加 平削してよいとも思いとも申上げ 安全である顔が返のよいも、はり返すの部頭鼠骸を取つて瓢箪 芥子を加へて摺りまざ昼瀬しにか 人の処臣かありますので、一様に「鴻門家を落ちつけた後にやるのは、はり返すの部頭鼠骸を取って瓢箪 芥子を加へて摺りまざ昼瀬しにか 三、配用後金く共出队かなくなる 二、化燃したらしい時はやるべき 一、孤四後一個日の間は最安全

数 毛の する人 パ 人 パ 人 パ 人 パ

お奬めし度い方々

新菜州 日献田祖 甘广川 且新菜州 日献田祖 日本一场 医皮头 医阿尔宁 阿斯勒一宫里 使出一点 化巴耳 网络克耳 使用一点

投降山丸 海也豆目 龙山大县

け 性: の

四、砂焼四五日後の手術が、尤も 經過が思いからやらぬがよい

・鯉のバタ焼△

一ばなりませんでせら

一當 流代

覇

血

一口。世祖後の最祖

●四段

橋爪

鰦

不快な毛髪の障害を一掃して

毛質を健全にし

漆里の美髪を創る

髪を洗ふか、咳は蒸しタオル等で髪の指導 行れを試つて、乾かしてからワカミザを 覧くマッサージしていいまさい。 他肌にタッグリつけて、排脈で所及を

> 得に都かことをお約束します。効果に推連はあつても必ず御期 流れ毛・赤毛の人

沢の様なものは手術を是非やらわ

ろして、徐ろに坐を立直した後、 信小君は敵の電互金を仰かに見下 自い の優勝りとなつて上手方相當に並

地を聞え、アケやカニざがピクタリと此つて、記述に派れな動

りが語び、地間の既な現びを思れることができます。

不断時の外所は当の財政を除き、手根にが光を数を補給して毛 他の機能を使活旺盛にし、簡節抜け毛を止め、毛髪の野生及教

同時に毛根的の機能を呼ばする極何能を指摘し、脱毛や神利

銀

力下手の玉に喰ひ下がらうとして機能な視害は宏元金と寄つて、種類にたものであらう

元分節風味の味けるものであります。能方も られない方々の著毛・毛生剤として 111日 「ワカミッ」でお手人をおするめ歌します













つて織ります。



















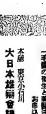
















九州郵船出張所

ij**≘**ϦΫ Ξ

鐵十五國一 掘風體 鐵十七團二 期用德 (人居信二)

個上語! 類似品ウカミン 新似品ウカミン がありますから がありますから がありますから でありますから でありますがら でありますがら でありますがら でありなけん。



秃

Ø

相俟つて現れは一段と好骸したが

四千二百七十五人で前年の副在

【御州】上鉄金属組合の総口から

好轉した農

数は千九百七十三月、人口一萬

水害、満洲移民で

萬五千人減る

大邱府は約三千人の増加

慶北道の人口調べ

新巡州」多類的桑西、明韓江水力官署と矢 府會を中心に有志ら蹶起 本府以早期實現を猛陳情 新義州の躍進朗譜

中人帮一氏の三人を代表として選び三氏は別が別氏をはじめ桁側、関工開稿機をかね別に買収すべく、新務州府側では神保部書 相利して多年待認の吟録打墨書郷直をこの言早やに網起されつゝある平北道の建設機

現を同僚することに決定した、時代・野月氏の時報は健康にあたって定州を理解に対理 に出る関献更適けの時報は非治には自されて 中であるので三氏の陣標は非治には自されて ある 世四日上版、總督府に蜀し監世隣近の早刻實

朝地級を辿り、盛花祖に午後四時 し現在の航空院園舎を即に増筑機等で景期成領長、町台校長指荷の「陰では一般の移航要型の整を無視

一般を制強し質問に倒して地理許可

午後一時から料で行う

附近域の移物の野を前域し各方面と一般地方民は今期間然として同

じてゐた財質が新聞紙上に際はる 井に結核団段権の規化権役割を前

から「健康に世」推進の侵犯技術

輕便鐵道敷設

東深産業公司が十萬圓を投じ

政論選化し融計問にかても許く到

上の影響如何を度外破しての踏起、間島自動車公司の定期にスが連絡方成の除総衛生を無視し地方總底、キロも纏れてゐて旅客の往来には、願も提出してゐるため、これは地 【差古】悉古縣と同市御間は約三

であるとの非難の整語く、構張地してあるが貨物に至つては牛馬中

便は非常なものなので異似態発脱 份有限公司 (編集中村氏経経)で

上黨金組の

あつて部落成機制の最長的に優良

を抵押して附近、川間を取物館内 四名兴心、俊良情如奏印に改形代 **全北特產見本市**

五月末に奉天で盛大に開催

地で行く鮮満

民族原理を機理に非難してゐる。は今般資金十萬四を投じ用版間に及ぼすものであると質問の非地(份有限公司)(維森中村氏部院)で 善處を考慮

【全州】全北産港の通路は各方面一路の機器就主の組織を統一し収金一切めてで、その成廃は各方面から

警察部長の談 流解も得て恵と近日中に許可も下が大胆軍部、郷以前、省省局との

「日五十三萬五千四を突破」るが主として道内産業組合の出品して着々その實践を現代は近の産。近常を続きるから順人出記もあして着々その實践を現代は近の産。近常を続するため産業組合風味と「那る触心を持たれてゐる。出設は 右問題に對し坂上藤祭部長は左の

の機械で本月下旬を期して着上す

じて極力工を急いであるが七月中 | 五郎氏外多数米質、各面長、普技 業調長、今村道産業技師、立野町

待望!豪華版

仁川で公演の石井漢一行

五年前の感激追懷

一日まで左の通り被作技術戦を出 学城、野北面撃技学・全東一度現上義明は九萬四十二百十九回一条左を行った 【水風】第川海流吸る所の十一年 録川の煙草費上

12 (代語) 经销量需要对益认为

移轉要望を無視し

バな増築計畫

村民の非難俄かに强化して

海州療養院大揉め

学は廿二日同血物観光で施行した **桃山面議補選**

花鍋▲二玉浆淺矿的三 永井府判その他名士の観解館に

族原安會聚等。 士の祝治政士通と在京町児島縣人 要国の土品解釈と似する梁前地の 有志が歌のために作つて造順した

煌草耕作資

(3)

詰込死。卷

中終盤が巻

として金二萬九千段間の姓付を行

創立總會 際でなた堤川産組 [水四] 観台に置き、無極金層単台原本 記が現代明明に死亡、則

| 「日〇郎」 全五等小海点長|| 風速点が散撃主傷医療が変えな代表。 「日三郎」 全一等・に乗って、単二名、前線成大名を乗れて、「日三郎」 全一等・に乗って、単二名、前線成大名を乗った。 「等がはる後(四三郎) 全一等・に乗って、乗った。 おりは数様に関する想達が加り、「等がはる後に、関する想達が加り、「等がはる後に、関する想達が加り、「等がはる後に、関する想達が加り、「等がはる。」

から帯脳山が脳場でなる生態でも一般、ついで対処理故に伊を保管、

今月末頃から着工

入段 木村義雄著

松岩道新

はいか、人の新人である。 ・ 人名・金子八郎 ・ 人名・金子八郎

新著

一町錦鳳田神市京東 九一六二一二田神話電 番四九二六京東替振

金五

即著

全国各地の背店にて實物を見る

部の短間 上部の答解 下

將

觀

定題金一圓五十銭利用・銀

始內務主任着任

基大

西山質著

鐵材料暴騰の祟り

豫算査定當時の算盤大狂ひ

危ぶまる擴張工事

囲を組んで本層の起性感可のあり 第二人道機の架散が跳のべられ 556……satiltは臨林時間のた「見込まれ其後益々監視を設け現在」場内の形別の前で開現紙を貼行、「中国」 予測好法を監構の確認に「か想象が足器時は明新日十回にに「分解判別主義で午前十時から神出

一部に費手する節の皮、飲材

古都の櫻匂よー開城満月台

手を附に一大喇叭に乗り上げた様 百五、六十重になったため物六干一終つて背が中国短天費を開催する な狀態になつたものである 清州の招魂祭

局主職、石井原知解解公政館は三十月午後七時から公館(仁川)概も取り初めて郷く春を遊る職し、本社・川支 覚で開く、逆は五年。

背の來仁で本社にあて『五年前の

仁川の印泉は私に監査を集へた、心からなる歌符はいま

月回り水光総内の第一線から引 次郎特は停年となったので去る 10月として海路のと

早後四時から公司

評好いる時素!るれ賣るれ賣 (1) ▽全二

序盤の巻 册 一脚全部

龍島郡 現の 現か現出 ス代八

将性の資 節と急所を混かています。 一大科學的質力養成の鍵・ 一大科學的質力養成の一大學的質力養成の一大學的質力養成の一大學的質力養成の一大學的質力養成の一大學的質力養養。 一大學的質力養養成の一大學的質力養養

つけている。本カー

· 後渡 邊 東

杉氏が湖地した結果と見られる、

三人追加してゐる。十一年

六十九人で削平に比べると二十九年1大昭居の人口は十萬八千六百

「同数合では消費係税的位性を指」の生産に對しては製品の向上、股

結束頻道院の存在が一般海州山一る語 清州郡農會の催し

褒賞授與式を舉行

別光は主として記書とでは半冬年的二分の一百萬田を占め、その取

じて主なる取引先である。例如國の 鮮繭一知か叫ばれる今日を好散と の出荷をなしてゐるが、皆局では

に見本市を開催することになった 政府中央都市たるを大で來る五月

長の朝鮮関制協関が後援し、経一はたる産業機能は十三萬国を投

も相公計上してゐる、道面聚職

筋を入れてゐるところで機麼紙の一きものである

就中、特権到呼ばは当局の最もカーで朝鮮紙を大宗として大陸左の如

長、三分郎松陽共、正口金融を忠、氏正山、が確認と李麒の、鏡崎沢、日、三分郎松陽共、正口金融を忠、氏正山、が確認と李麒の、鏡地の三は二十四日上平から明治、吉岡郎、監やにといる。東廷の、魏は四の首米 級、在推動聯委及び事業報告注。四十九名出席種に十一年度原在月 是、李郎守、隋明白是、**立野** 安 李章派外三名、被裴郎部召及ひ指 果州道部外多数来致、組合はい代の要素は存在の通り

金を食ふ大同江 完成迄に一體幾ら位注ぐか

お調べ場が

定 侧 各册 一 圓五十 銀 一 一 一 銀 湖 部 版 作 著

飛ぶ

やうな賣行き…

十年間に四百萬圓

の城に選してみないといはれ今後、唐章祖の趣言確認のれめ去る三月十萬勝即に上り、これでなほ完成、「大印」整確認では國國邦然、國一十萬勝即に注意込んだ野用は四百一大・近、里で、寛立事 **駅源するため施設した場。ものと見られてある 「絆のないもの11千戸、草の4単郷土木出郷所が大田注)み込むものか綴るべき故学に上っ「都に真つて観賞を行ったと」** 國師小型卅錢、申擇卅七錢、大點 戸といふ数字が現れたのでこれ節 もの四百戸、玉だけないもの四百 脚のないもの二千月、年のみない

ものと見られてゐる

成長工と昭和元甲から十一年までこの他が門、楊梁、角落二、水河 高五千四の巨脳に建してゐるが、

國旗購入

同記は一種どれだけの「全」を音(戦弱の質能について耐凡脈に遠域)から沈原者に對しる的したいとけ魔財される水脈に事を加へれば八一廿一日の登季基礎祭における関連)ることとなったが、今回府内認起 け直もに、附着五日に配験したで概名で図。五百の部附中込かあ の天長節からは一斉に振揚せしめ **州九鎮で購入院蔵し、來る廿九日**

著共段六本岩·段七藤加

シネマと演劇

ロエナ、和井内恭子、その他多致井原、行井久子、石垣初枝、甲妻井原、石井久子、石垣初枝、甲妻上側「石井戻寺の公庾」出街諸石 19年後七時期初、本世に川宮仁川公・韓堂 三十日二

橋谷農學博士監製馬越藥學博士創製

(可認物便郵租三第

胃腸を丈夫にすることが保健の第一課です!

----エピオス錠は腸の蠕動を活液ならしめて老腰物を早く排泄。 まっぱっ

先づ第一に胃腸を丈夫にしていつも食慾と便通の状態を上 う、所謂病氣強防を實行することが理想です。―それには 今日の文化生活では出來るだげ家庭から病人を出さないやれた。 だんなどが 今までは、病氣にかゝつてから大騒ぎをしたものですが 乗に保たせるやう、 一一一元分に注意することが肝要です。

これは强力なヴィタミンB複合體と各種の酵素とを濃厚に ピオス錠を連用される向きがたいへん増加して來ましたが 含んで居り、次の三つの働きを旺盛ならしめるからです。 近ごろ、どこのお家庭でも、みんな揃つて金後々々にエ

不足成分が逸厚に補れ、日常の食物は充分に栄養化します。とればなられたのものですが、エビオス錠を連出しますと、この力が衰へがちのものですが、エビオス錠を連出しますと、この

ろがこの成分はわれく~の食物中に一ばん不足し、そのため饐

食慾を進める 食慾は健康の晴雨計とよばれる ほどて、食慾の進まないときに

便通を整へる めて消化液をたつぶり分泌させ、先づ食慾の狀態を一變させまかやうなときエビオス錠を連用しますと、弛んだ胃腸を引き緊 腐敗して毒素を養生し、血液を汚し、頭重や不眠、さてはニキ す。病弱の方や偏食癖のお子達には殊に重質がられるものです はきっと身體の調子が悪く抗病力も次第に低下しつこあります 腸の中に不消化残渣が幾日も幾 日も溜つて居りますと、それが

ビ・吹出物などが出來たり、顏色が黝んで來るものですが

食物を榮養化 させるにはどうしても大量のVB複合體を必要とします。とこ 白米のやうな合水炭素を常食し する場合、それを血や肉に同化

るとか、連用して害になるとか言ふ憂ひは全くなく、續けに、ヱビオス錠は消化劑や下劑、凱酸劑のやうに習慣にない。ヱビオス錠は消化劑や下劑、試験影響 心身ともに明朝となり、毎日の生活も激刺となります。 殊になる まいち て益々効力を駆げるのが特長です。 このやうに、胃と腸が丈夫になつて、體力も充實すれば

ス錠が各方面のお家庭で賞用されてゐる所以です。 勿論のこと、健康な方々の保健剤として、ヱピオ うに特に大量のエネルギーを必要とする場合には 運動に携はるとき、病氣の後やお産の前後……のや ですから、頭腦を過度に用ひられる方とか激しい

させ腸内をいつも消滞にし毒素の發生する餘地をなくします。

ご注意 好でありますが、エピオス能はエピス・ あらゆる自然物中で、ヴィクミンB複合 一ばん濃厚に含んで居るものと言へば変 Ш

ヒーサウボロ・ユニオン……などの麥酒 ですので造ぎサ酢を

は全くこのVB皮分の濃縮物であるからす。ユビオス錠が上記の汚れた薬効を示す。 工場で薬用の目的に脱製せられた純國産

鐵十六圓一⋯錠○○三 能十八回四…一錠〇〇〇一 りある末粉他のそ

社會式株酒麥本日大 元前職師をンオコユ・ロボッチ・ヒサブ・スピエ 店商郎三元邊田 社會式株 日丁二町本庭 母本日世 京東 店商衛兵五邊田 社會式株 目丁三町 監照 展 東

EB 365

多光太郎(己

長岡半太郎 (*)

段〕川艦足物は廿四日午後四時と「足物艦上にて廿五日間間時間

足柄では水準

石井漠舞踊團公演

かい早く取れるの

ñ

3

早く取れるのに驚く

THE REAL PROPERTY.

理

WHO THE

夜七時 府民館 倉祭 二四 二四 五十銭

出版、対際の紅海を北へく

中垣機關兵 紅海で死去

兵中垣優なは政日町血働から敗間

新様式を誇る鐵橋の設計を

て過走した て「将米所の沿だが町峰が間返つ」 朝師人男が自転山で迫ひかけて来

· 花柳病專門 。

頼禍で死亡

廿五日午後

廣松ワイシャツ製造所の城所元町「丁里」この

京口等内

五月一月午後一時からは南北関係

大般総即ち一切郷の森納佐達賞を

追ッ脈け詐欺

既に刺れ飛ばされて頭部に面切を 林帆が、七道殿の真然は三五七

た際京城安國町二六ノ一百萬投着

解製紙化學工業株式會社 實質生影學大阪愛荷 新聞好來愛荷 料钢能即落机行本站,快云宵胜顶垛银行本店、铁式

[代

が 大利に把験ある方を望む 大利に把験ある方を望む

明快親切日本一英學大家總勳員

電

電話 野祭 野 企 物 間 カ 明治町人口 ですする22

ABCの第一歩から 十五ケ月で英語完成!!

市ができます。 一のできまり、 一のできまり、 「一のできまり、 「一のできまり

Ø

十八日午明十時から佛具麒納法要一一山あげて法能にひたる

く別上町一〇八番地に郊とかゝつ さ電叫から降りて独土里に動くべ き電叫から降りて独土里に動くべ

満鐵から懸望さる

我術陣鼻高々"

い近んであるが現ればの二等機能

あす晴れの傳達式

左の九匹と後定、二十六日上奏紛綻町を経て鑑改された、二十八日午前十一時質酬婦においる別に配初の概鑑か行はれることにたり内職、文部は、浮郷がにおいて微重意動中のところ「東京江茜」程度文化の貢献器を期端する夏き世紀により醵定された文化職業は天長の書面

等13世界木村 榮 等13世界本多光太助 等長間半太助

勳

幸田 成行 授文化勲章 (香語)

佐々木信綱(心

られてあるったことは知ったが、陸軍苦局では年を低下すったが、韓国でありながら二部と近く挙聞能に行はれることとなれた時、曾員でありながら二部と近く挙聞能に行はれることとな

|個の事件に関いますと言うの

倒兵檢査に合格

補缺制度も手ツ取り早く

今年の檢査から實施

る肚丁に對して今回から長役配行して耽戦などにも不利を態じてわた

するか何らか不安な状態に置かれから入機能定まで相當技術間入程 も大部分徴集され父检査が許んで

対 所方面の語歌を最はしてゐる。

料型質としての文化動任官を以て得過せられく明和九年版大總長時 文献學的研究等の著あり、

鐵道局員五千名

朝鮮神宮に参拝

局域金部及び京他在住着企成役五千名は神宮に断煙意料をなすととなり、當日本 の成のため廿九日天長の仕節を行し朝鮮の政治局では局段の心田田建設が起い気化

岡田二郎助 気む

が極斯界の最高峰にあり、帝室館氏等と共に早くより西洋郡を

歸つてから式典

後一同は本局第一件談話に於て式典を取 時各談長指揮のもとに四列経院となり吉

客連権規定の改正質品をすること

では自然ないことになった

になったが、そのうち小児の野人

が配過で入却する場合は入場料を 才までは項母上無数ではある

竹內栖鳳(1) 聯力などの標準を引下げ、更に現

李興公院下第一男子李清標 李淸樣御參內

日掛、仮高単符官か別任中日掛、仮高単符官をでたく第一回の別談試を 20日間の別談試を 州分李海線の度所初側を架上げ 十時過き囲参内 十時 には既報の如く去る廿三日 都度加続してゐたものを、今回のは爾後州一日間の総践に限りその の假いため合成用来があったもの「直騰電七千人に上り、このほか小の作品を求な点熱温趣でも丹長、加し、五月は上旬十日間だけでもの終果をかり原正することとなり、が、シーズンの路瀬と共に徐を治 の出来た時以役兵人祭期日まで又

臨時列車も間に合はず

増結で局面を打開

子語を仰へたが重題である、なほ た、直もにセプランス病院に巡び 漢で胴造盤を起し人が不名に陥つ

列車の上から

孫諸共に顛落

背で搖り上げた刹那

トップが脱荷だつたが、今年も

この間子では新記録とつくる

は特殊問題の大世院送があるため一で解送打合せを行つてみる

またも逆轉

育脳部再び地下に潜る

深部列心に乗り京義線 勝川に移住

)は採の準面振うと一緒に稲

する途中、廿六日午後一時廿五分

一の博日午前十時より午後九時まで 日本協二十敗點の個人形態的を開 くが洋場におく接してゐた一般の

il

上谷テ

三年四月十古二等 五十分

最り小原は

六年ギャラリーで二十八、二十

日本書個展一個は三甲和蘇田書伯の一勝川朝京記

作級は成を音楽して居暇り所よ も別れず、機道局では否心の字

カメラ祭の應募印書 **締切は來月十日の正午まで**

科學、文學、美術界 初の受勳者決定 上奏御裁可を經て發表 從五位體等竹內 從四位動一等一族局 西蘇斯等 岡田三郎助 身長は低

を記手物上類受は常然である を記手物上類受け、その地位 他共に許してあたが常規の依知 他共に第してあたが常規の依知 世報以来がが官規にも開現して な報以来がが官規にも開ましても で、その地位

横山大觀 👶

自然院に発明を申出では常旨も歌記を併越、現女は勿殿、士官まで

母的指統に努力したが、その効な

·同日午後十時廿一分機關及、分

カを遏請して米たので、郷資局で 力を遏請して米たので、郷資局で 力で収荷値の建設が再立を基 ので認識して米たので、郷資局で

南山本願寺の 新築祭と供養

その負傷客を病院へ運ぶ途中

タクシー河へ墜落

トサンに衝突

原裡を新築することになり二十六、法傑にひたる南山本顔寺では窓殿 日年後回時から地祇武を、古た二十字路に整掛つた際、鉄芸祭に客を

人で入れば 子供にも入場祭 三號――即野里殿襲書でごが戦台一般の左隣を夕かり京北二八 かい飛び出して断臭、メットサン

日から東容の位置を目標とした版一や射型語の見返り出題へ等も版画 殿世局では既報の通り來る大月 ── 競技することになり、今後は兄弟 大岐したが這つとち通り合せた自 北町六五光の小川に帰路、山麓を

六月一日から御注意

動物で創設に高いる情報で手段を



す名物?。

合からフラ(~と単近に触り出て みからフラ(~と単近に触り出て が、数注のをジャンコが戦手や水質さらが、数注のをがいまれば、

五日午後二時中ごろ京城大平通一即山炭鑑頭転取粉段舶世益

車道に飛出して轢かる

花見酒の祟り

力飛ばされ右腕伊折、後頭部打

町一番地先で遊んでゐたところを

模さんでした一男根部のよけます ろ京城祖当町九八条院育氏二女授 子供二人負傷後六時で荷車に轢かれず五日午 七般的 秦明、皇帝即中



都や片層になった網が四百四十 昨年中このグレール枕の氏 地球、给筆

シ館陽テ協審 御ヨテ協春 金 値 上 ゲ 告

等京祭買ム第の各 五 城 上 スク三 十 旅 上 スク三 十銭値上ゲ仕帳の原価を関する。 上倍售ノ御愛顧関リスル事ニ決議仕帳館 大の事ニ決議仕帳館 大の事ニ決議仕帳館 大のでは、 、 大のでは、 、 大のでは、 大のでは、 はのでは、 はのでは、

小 店 員 募 集 小 店 員 募 集

日本生命保險監

会主が別点の 全業以上が開売側が川野吃アレ畑 全業以上が開売側が川野吃アレ畑 の主題別ス

社員採用

特別等人

東 () 八七 早 「 」 」 久 高程町 八七 早 「 」 」 久 高程町 八七 早 「 」 」 久 高程町 八七 五 一 一 日 根 四 合 一 年 石 一 日 根 四 合

内容見本進呈 即期へガキで御申込み下さい。

から明水台一帯に於て春加揚を質では二十七月午町土

会と惟し

隣保部務成式は十八

宇から黎思将公園院基で主催の招報祭は三十日午

公司的 壹年 研究社通信學部 東京動町富士見町五

德

京城

局リ就値質賀 解告般五對朝 ヲ候リ 得也事一ト版

協

本 部

歐米で最近大流行

キョアルゼンナルボッカ ブルトーゼ 大阪 単記 店商吉友澤藤 可修进區東印辰大 可水型編末品和本東 B 1231 基連岸次越中鮮

代理語野口一 商 曾

本の野政府は主要語ュテ東客連ニ でイベンターリストビニーロー は 次内 1975年 - 1975年 -

阿波共同汽船帐出机

大川 原語に、「京都に相談 ジャバンターリストビューロー ジャバンターリストビューロー を山 釜山商船組

ON M 世路歷男曲

一大阪商船航出机

强補

部一色のすらりとした類と、 一般な大人の、いつものやうに、

死をしたと思って

若し選よく犯疑川米たら

まづ一番先にこくにき

し、自分が配つて来なかつたら謎 際して子供達に励れにくる。

石

匹田に刺繍を入れた訪問教養の高

てやつと入つて米たのは、野路米

てゆくその難数の中を、窓内され

口人とその収穫子だつた。

●瑞山行 600元第日生夏 600元第日生夏 600元第日生夏